

ハンドボール

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生

No. 29

- 全国大会
- フロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合番号 **コミセン-男36**

年月日 **2022年8月1日(月)**
大会名 **全日本学生ハンドボール選手権大会(コミセン) 男子36歳以下**

公式記録用紙

A		県立藤代紫水高等学校						大阪体育大学浪商高等学校						B			
都道府県		愛媛県		市町村		松山市		会場		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ				回戦		3回戦	
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mAD-コンテスト	A	B			
	11	19		22	32												
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数						
	0/0		1	2	3	1	2	3	1/1								
			2929			2043											
No.	藤代紫水					G	W	2'	D	DR	No.	大体大浪商					
1	津覇 一快										1	大砂 佑真					
2	風見 悠斗										3	小門 聖昌					
3	宝田 凜										4	門田 晃季					
4 c	藤井 奏輔							1			5	和田 拓馬					
5	大橋 真人					4					6	井上 凜太郎					
6	牛丸 三士朗										7	市原 駿太					
7	小泉 涼太					5					8 c	竹下 颯斗					
8	熊本 草太					3		1			11	勝村 海生					
9	飛澤 翔					4					15	西村 直将					
10	生鷹 頼太										16	田代 稔					
11	小久保 稯										17	尾上 悠利					
12	齊藤 颯遵										19	橘 光太郎					
13	大友 克海					3					20	野中 洸希					
14	熊谷 継					3		1			21	鈴木 昊紀					
監督A	小倉 慶輔										監督A	徳永 昌亮					
役員B	滝川 一徳										役員B	山本 智章					
役員C	会田 亮祐										役員C	井手 琴音					

A **コミセン** チーム役員A署名 **徳永 昌亮** B

特記事項

レフェリー	堀田 侑佑	櫻井 隆光	堀田 侑佑 櫻井 隆光 壺内 博章 近藤 啓司 多田 和生
TD	壺内 博章	近藤 啓司	
MO	多田 和生		

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年8月1日(月)	会場	松山市総合コミュニティセンターメインアリーナ		
種別	男子	回戦	3回戦		
チーム名		チーム名			
県立藤代紫水高等学校(茨城)		大阪体育大学浪商高等学校(大阪)			
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	11	前半	19	32	
	11	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評
<p>今春の選抜3回戦で対戦した両校が、インターハイの3回戦で再び顔を合わせた。リベンジを誓う藤代紫水高校と、悲願の優勝を目指す大体大浪商高校。次のステージへ駒を進めるのはどちらか。前半立ち上がり、浪商⑨橘⑧竹下、藤代紫水⑦小泉⑤大橋が交互に点を取り、両チームまずまずのスタートを切った。先に流れを引き寄せたのは浪商。⑩尾上のミドルを皮切りに⑧竹下⑤和田⑥井上と得点を重ねる。対する藤代紫水も⑨飛澤の速攻、⑤大橋④熊谷のステップシュートなどで得点するが、浪商の堅い守備に阻まれてなかなか連続得点ができない。その間に浪商は⑤和田を軸に3連取、さらには4連取とじりじりと差を広げ、19対11の8点差で前半を終えた。</p> <p>後半に入り早く追いつきたい藤代紫水だったが、浪商のGK①大砂を中心とした固い守りに苦戦。ペースは自然と落ち着き、前半立ち上がり同様藤代紫水は④熊谷⑩大友⑦小泉が、浪商は⑧竹下⑩尾上が交互に得点を重ねる展開となった。15分経過時点で25対15と差を詰めることはできず、時間の経過とともに、浪商は司令塔⑩竹下を中心にしっかりとゲームをコントロールし始めた。終盤藤代紫水も⑧熊本⑨飛澤らが得点し意地を見せたが、32対22で大体大浪商が勝利した。</p>

記載者氏名	石丸 敬之
-------	-------